

令和8年飯田市議会第2回定例会 一般質問通告表

令和8年6月4日、5日

No.	氏名	項目・要旨
1	長谷部春生 (会派きぼう) 【 40 分 】	<p>1 若者が帰ってくるきっかけとするための「しごと発見イベント」の在り方について</p> <p>(1) 国勢調査の結果速報について</p> <p>① 市長の受け止めは</p> <p>② 人口の将来展望と今後の施策の在り方は</p> <p>(2) 若者が帰ってくるきっかけについて</p> <p>① 若者の進路選択に影響を与える要因は</p> <p>② 飯田市のこれまでの取組は</p> <p>ア 高校卒業前に地元企業を知ってもらう取組は</p> <p>イ 愛知県での就職説明会の反響と成果は</p> <p>ウ 奨学金返還などに対する就職支援は</p> <p>(3) 今年度の新規事業「しごと発見イベント」について</p> <p>① 目的と対象者は</p> <p>② ふるさと合同企業説明会との違いは</p> <p>③ イベントの周知方法は</p> <p>④ イベントの効果測定とその検証方法は</p>
2	古川仁 (日本共産党) 【 30 分 】	<p>1 石油化学製品の基礎原料である「ナフサ」不足について</p> <p>(1) 全国的に「ナフサ」の不足による影響が出ているが、市の状況は</p> <p>① 市発注の建築・建設工事の状況は</p> <p>② 市が管理する医療・介護現場の状況は</p> <p>(2) 市民への影響は</p> <p>① 住民税非課税世帯等に対するエアコン設置促進事業への影響はどうか</p> <p>② ごみ袋の状況は</p> <p>ア 在庫の状況は</p> <p>イ 袋の素材・デザイン等、改良を進めては</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	古 川 仁 (日本共産党) 【 30 分 】	(3) 「ナフサ」不足に対する市の対応は
3	小 平 彰 (新政いいだ) 【 30 分 】	<p>1 飯田市のデジタル発信体制について</p> <p>(1) 飯田市が公式に行っているデジタル発信は、いくつ運用されているか</p> <p>① 主な媒体について、登録者数や利用者数をどの程度把握し、効果検証に活かしているか</p> <p>② 飯田市公式LINEの状況について</p> <p>ア LINEメニューの構成はいくつの項目で構成され、飯田市地域情報アプリとの違いは</p> <p>イ LINEを活用した建設部への通報は年間何件あり、対応は何件か</p> <p>ウ LINE機能のメリット・デメリットをどのように認識しているか</p> <p>③ 電子回覧の導入をどのように考えるか</p> <p>(2) 災害時の通報体制について</p> <p>① 市民が災害時に情報を得られる手段はいくつあるか</p> <p>② 市民から飯田市へ災害情報を連絡できる手段はどの程度整備されているか</p> <p>③ GIS (いいだWebまっぷ) の今後の拡充はどのように考えているか</p> <p>(3) 公衆無線LAN (フリーWi-Fi) の現状と今後について</p> <p>① 市内の公共無線LANの設置箇所は現在いくつあるか</p> <p>② 今後の整備方針はどのように考えているか</p>
4	片 町 元 彦 (会派きぼう) 【 40 分 】	<p>1 飯田市民の健康と健診について</p> <p>(1) 健康いいだ21 (第三次) の現状は</p> <p>① 健康づくり推進室を新設した目的と期待することは</p> <p>② 飯田市独自で行われている「健康いいだ21」の進捗状況と現在、特に力を入れている取組は何か</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	片 町 元 彦 (会 派 き ぼ う) 【 40 分 】	<p>③ 第三次計画がスタートして2年が経過するが、「脳血管疾患」「高血圧」「糖尿病」に対し、どのようなK P I (重要業績評価指標)をもって評価し、次期中間評価に反映するか</p> <p>④ 長野県は「ゆるしお」を掲げ、無理のない減塩を推奨している。飯田市も「食環境の整備」が今以上に必要になると考えるが具体的にどうか</p> <p>(2) 健診の受診率向上策について</p> <p>① 歯っぴー歯科健診の受診率と目標は</p> <p>② 健診の実施が20歳から10歳ごと60歳までとなっているが、70歳以降が対象から外れているのはなぜか</p> <p>③ 令和7年度から「妊婦歯科健診の無料化」が始まったが昨年の実績は</p> <p>④ 妊娠時に歯科健診が一回無料となっているが、つわりや体調不良で受診機会を逃す妊婦も多いと聞く。アフターケアは行われているか</p> <p>⑤ 幼少期より歯の大切さを学ぶ事が大切と考えるが、小中学校での取組は</p> <p>⑥ 8020運動に力を入れ予防歯科への関心が高まっているが、今後の方向性をどのように考えるか</p>
5	宮 脇 邦 彦 (公 明 党) 【 40 分 】	<p>1 成年後見制度の活用について</p> <p>(1) 市民後見人制度の活用促進について</p> <p>① 当市での認知症高齢者などの実態と推移は</p> <p>② 成年後見制度の啓発とその効果は</p> <p>③ いいだ成年後見支援センターでの相談件数の推移と今後の見通しは</p> <p>④ 県との連携による市民後見人養成の進捗と実態は</p> <p>⑤ 現状での課題と今後の対応は</p> <p>⑥ 市の各窓口で個別に行う成年後見に関わる手続きの煩雑さや事務処理等の課題をどう認識し検討しているか</p> <p>⑦ 成年後見人等が市からの各種通知などの送付先変更を一括して行う仕組みについて、その導入への具体的な検討及び見通しは</p> <p>2 防災を「スローガン」で終わらせないために</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	宮 脇 邦 彦 (公 明 党) 【 40 分 】	(1) 自分ごとの防災とは何か ① 飯田市防災アプリ「結防」の概要と目的は ② 「結防」の利便性など市民への啓発は ③ 市民へ「結防」の使い方を分かりやすく理解いただくための取組は ④ 「結防」を地域の自主防災組織と住民をつなぐツールとして生かす場合、現状の課題と今後の展開は ⑤ 防災を自分ごととして捉えてもらえるような取組は ⑥ 災害時のソフト面の支援とは
6	岡 本 恒 和 (新 政 い い だ) 【 30 分 】	1 市政の広報全般について (1) 市民の困りごとに寄り添う新たな施策と広報は ① リサイクルステーションでのリターナブルびん回収拡充について ア 以前からの「捨て方に困る」市民の声にどう応えようとしてきたか イ 「困りごとを解消」できるような広報への工夫は ② 運転免許自主返納者向け「おでかけパス」の実証実験について ア 移動不安の軽減をねらいとした施策と想定する効果は イ 「おでかけパス」の周知はどのようにしたか ③ 産後ケア事業（通所型・訪問型追加）について ア 拡充した産後ケア事業のねらいと期待する効果は イ 「気軽に頼ってよい」ことが伝わる言葉やビジュアル等を用いた周知の工夫はどうか (2) 身近に感じられる市政の広報のあり方は ① 情報環境の変化を踏まえた市政広報に求められる「親しみやすさ」「共感」の必要性と方向性をどう考えるか ② 広報媒体ごとのトーンや表現は

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	岡本恒和 (新政いいだ) 【 30 分 】	<p>ア 媒体特性を踏まえて、例えば飯田弁も含めた親しみやすい表現の活用として「小さな試行」を行うことはどうか</p> <p>(3) 広報の継続的な改善に向けた体制づくりは</p> <p>① 広報のアップデートのための取組は</p>
7	福澤克憲 (会派きぼう) 【 40 分 】	<p>1 「畜産業」の持続的な発展に向けた支援について</p> <p>(1) 長野県主催による新たな協議の場「畜産振興検討会議」の進捗状況について</p> <p>① 生産基盤の強化、消費拡大等への支援は</p> <p>② 長野県食肉公社（松本市）の閉鎖に伴う影響緩和の支援について</p> <p>ア 生産者の掛かり増し経費の支援は</p> <p>イ 出荷体制への支援は</p> <p>ウ 食肉流通体制の再編への支援は</p> <p>(2) 長期的視点から見た「畜産業」の流通について</p> <p>① 北信食肉センター（中野市）と県外施設の受入体制は</p> <p>② 飯田市としての今後の方向性は</p> <p>2 災害に備えた防災・減災対策の考え方について</p> <p>(1) 天竜川水系河川整備の状況について</p> <p>① 治水対策事業を行った天竜川上流部川路・龍江地区の土砂堆積の状況は</p> <p>② 河道掘削の令和8年度の計画は</p> <p>③ 令和5年12月に改定された天竜川水系河川整備基本方針、令和6年7月に改定された天竜川水系河川整備計画において、基準地点となっている天龍峡の河道整備流量は目標値に達しているか</p> <p>(2) 地域の取り組みについて</p> <p>① 令和8年度の防災訓練のポイントは</p> <p>② 防災・減災対策として地域に望むことは</p>
8	佐々木博子 (新政いいだ) 【 40 分 】	<p>1 ダイバーシティ推進について</p> <p>(1) 庁内の女性管理職について</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	佐々木博子 (新政いいだ) 【 40 分 】	① 役職における無意識の思い込みについてどう考えるか ② 人材育成の考え方は ③ 上司からの働きかけの必要性は (2) 庁内の障がい者雇用について ① 現状認識は ② 法定雇用率未達成が続いている要因は ③ マッチングと職場実習の必要性は ④ 「分散型」と「集中型」の考え方は (3) 庁内のダイバーシティ推進と働き方改革をどう考えるか (4) 多様な人材が活躍できる組織づくりをどう考えるか 2 小学生の朝の居場所について (1) 現状認識は (2) 市の考え方は
9	森本 紘司 (新政いいだ) 【 30 分 】	1 外灯の維持管理と地域負担について (1) 外灯の現状について ① 管理区分の現状は ② 老朽化による不備などの点検状況は (2) 各地域で管理している外灯の維持における負担について ① 地域等が負担している電気料や修繕費等の現状は ② LED化推進に向けた支援の考えは ③ 自治会加入率低下などによる維持管理の負担軽減に向けた取組状況は ④ 各地域で管理している商業灯の今後の在り方について市の考えは 2 扇町公園にある蒸気機関車（D51）の状況について (1) 引き取り希望者との交渉状況は (2) 今後のスケジュールの見通しは

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	森 本 紘 司 (新 政 い い だ) 【 30 分 】	(3) 引き取り希望者との交渉がまとまらなかった場合の市の対応は
10	岡 村 弘 子 (公 明 党) 【 40 分 】	<p>1 防災の現場における女性の参画支援について</p> <p>(1) 女性・子どもの視点を取り入れた防災に対する取組について</p> <p>① 避難所開設・運営マニュアルの中での女性や子どもへの視点は</p> <p>ア 女性・子どもの視点を導入していく際の具体的な方法は</p> <p>イ 令和8年度からの防災士資格取得に対する支援は</p> <p>ウ 今後、支援対象を拡大する考えは</p> <p>エ 避難所開設における女性の役割に対する考えは</p> <p>(2) 女性防災人材を支援する取組について</p> <p>① 女性・子どもの視点を学ぶ機会は</p> <p>② 今後、女性の防災人材の育成や活躍に対する市長の考えは</p> <p>2 がんの早期発見に対する取組について</p> <p>(1) 乳がんに対する取組について</p> <p>① 当市の乳がん罹患（りかん）状況は</p> <p>ア 乳がんの検診受診率とがん発見数の状況は</p> <p>イ 検診受診率を向上させる取組は</p> <p>ウ セルフチェックの啓発の取組は</p>
11	市 瀬 芳 明 (日 本 共 産 党) 【 40 分 】	<p>1 次期介護保険制度改正を見据えた市の介護基盤の維持について</p> <p>(1) 次期介護保険制度改正について</p> <p>① 市は、次期介護保険制度改正の方向性をどのように受け止めているか</p> <p>② 第10期介護保険事業計画の策定に向け、国の制度改正の議論をどのように市の計画へ反映していく考えか</p> <p>(2) 中山間地域における介護サービス提供体制の維持について</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	市瀬 芳明 (日本共産党) 【 40 分 】	<p>① 市は、飯田市内の地域ごとの介護サービス提供体制について、中心部と中山間地域でどのような違いがあると把握しているか</p> <p>② 訪問介護、訪問看護、通所介護、居宅介護支援について、中山間地域でのサービス維持に課題は生じていないか</p> <p>③ 国が検討している中山間・人口減少地域への柔軟な対応について、市として対象となり得る地域やサービスをどのように考えているか</p> <p>(3) 訪問介護と居宅介護支援について</p> <p>① 市内の訪問介護事業所数、利用者数、サービス提供量の推移はどのように把握しているか</p> <p>② 訪問介護事業所の人材確保、休止・廃止、サービス提供困難地域について、市は実態を把握しているか</p> <p>③ 居宅介護支援事業所のケアマネジャーの人数、担当件数、年齢構成、今後の不足見込みをどのように把握しているか</p> <p>④ 第10期介護保険事業計画において、訪問介護と居宅介護支援を地域で維持するための具体策を盛り込む考えはあるか</p> <p>(4) 総合事業と介護予防のあり方について</p> <p>① 通いの場に参加できない高齢者、閉じこもり傾向の高齢者、認知症の疑いがある高齢者へのアウトリーチは十分か</p> <p>② 今後、要介護1・2の生活援助等の見直しが国で議論される中、市として、必要な専門的支援が後退しないようどのように考えるか</p> <p>(5) 介護保険財政と第10期保険料への影響について</p> <p>① 令和7年度末の介護給付費準備基金残高は</p> <p>② 基金残高を踏まえた上で、第10期保険料をどう考えるか</p> <p>③ 保険料負担を抑えながら、必要な介護サービスを維持するため、市としてどのような考えを持っているか</p> <p>(6) 市として「住み慣れた地域で暮らし続けられる介護基盤を守る」ことをどのように位置づけ、保険料負担の抑制と必要な介護サービスの維持をどのように両立するか</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
12	正 木 利 幸 (新政いいだ) 【 50 分 】	<p>1 恒川官衙（ごんがかんが）遺跡の恒川清水について</p> <p>(1) 国指定の遺跡に指定された恒川官衙遺跡の恒川清水は、歴史的にどのような価値があると捉えているか</p> <p>(2) 恒川清水の湧水復活にあたり、これまでどのような経緯で整備を進めてきたか</p> <p>(3) 恒川清水の現状をどう捉えているか</p> <p>(4) 恒川清水の湧水復活に向けて再構築が必要と思われるが、市としては、どのような取組を行っているのか</p> <p>2 移住対策について</p> <p>(1) 結いターンシップについて</p> <p>① 制度の詳細は</p> <p>② 利用実績の推移は</p> <p>③ 実際に移住した人の中で、この制度を利用した割合は</p> <p>④ 制度内容の見直しは</p> <p>(2) 移住相談の中身について</p> <p>① どのような内容が多いか</p> <p>② 時代の流れの中で相談内容に変化はあるか</p> <p>(3) 移住者の住居について</p> <p>① 住宅確保の課題は</p> <p>② 具体的な支援策は</p> <p>(4) 移住者の就職先について</p> <p>① 移住者が就職先を探すにあたり、どのような課題があるか</p> <p>② 移住者に、企業の特徴を伝える取組は</p> <p>(5) 移住者の教育環境について</p> <p>① 子どもがいる移住者は増えているか</p> <p>② 学園構想により、移住者にとっても魅力ある教育環境が必要と認識するがどうか</p> <p>(6) 二地域居住について</p> <p>① この取組が持つ意味は</p> <p>② 市が行っている取組は</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	正 木 利 幸 (新政いいだ) 【 50 分 】	③ 将来展望は (7) 移住希望者が、これから飯田市に移住を決断する決め手について市長の考えは
13	関 島 百 合 (会派きぼう) 【 40 分 】	<p>1 飯田市立病院の経営に関する今後の見通しと、地域医療との連携について</p> <p>(1) 飯田市立病院の病院事業会計の資金期末残高の現状と見通しは</p> <p>(2) 飯田市立病院の病床稼働率の推移と今後の見通しは</p> <p>(3) 手術支援ロボット「hinotori」について</p> <p>① 導入時の費用と、今後の維持管理に必要な費用は</p> <p>② 経営健全化への効果をどう見ているか</p> <p>③ 「hinotori」と地域医療との連携をどう考えるか</p> <p>(4) 診療報酬改定後の見通しは</p> <p>(5) 飯田市立病院として、医療的ケア児者のニーズにこたえることはできないか</p> <p>2 第40回「やまびこマーチ」の成果と、今後について</p> <p>(1) 節目を迎えた「やまびこマーチ」を振り返って</p> <p>① 成果は</p> <p>② 運営体制はどうだったか</p> <p>(2) 健康増進も目的の一つと考えるが、健康づくり推進室との連携は</p> <p>(3) 来年度以降の開催方法は</p> <p>(4) 準備と運営に民間の力を活用してはどうか</p>
14	遠 山 雄 (会派きぼう) 【 40 分 】	<p>1 子育て支援の基本姿勢と現状認識について</p> <p>(1) 子育て世代に対する支援は最重要課題の1つと考えるが市としてはどうか</p> <p>(2) 支援、サポート体制は十分か</p> <p>(3) 飯田市こども若者まんなかプラン令和6年2月調査で子育てしやすい環境（育児や保育）のまちだと思う人の割合の現状値が64.5%とあるがこの数字をどう考えるか</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	遠 山 雄 (会派きぼう) 【 40 分 】	<p>(4) 社会が便利になる一方で、子育てしやすい環境の満足度が低下している現状の分析は</p> <p>2 飯田市こども若者まんなかプランの目標達成に向けた課題と今後の方向性について</p> <p>(1) 子育てしやすい環境（育児や保育）の目標値（令和11年度）74.5%に向けた課題認識は</p> <p>(2) 多様な子育てニーズへの対応とは何か</p> <p>(3) 親育ちの支援とは何か</p> <p>3 保育園の無償化制度の運用と施設間格差について</p> <p>(1) 保育園の無償化制度とはどのような制度か</p> <p>(2) 市外の認可外保育の利用が無償化の対象となっていない理由は</p> <p>(3) こども家庭庁は、保育の必要性のある子どもは、原則、無償化の対象としているが、市の考えは</p> <p>(4) 利用する保育園によって支援に差が出る現状について、市の考えは</p> <p>(5) 平等な手厚い育児支援が人口増の鍵になると考えるが、市の考えは</p> <p>4 子育て支援の制度の柔軟性と選択できる環境づくりについて</p> <p>(1) 現在の制度や運用で、多様なニーズに十分に対応できていると考えているか</p> <p>(2) 多様なニーズに合わせた保育や教育を選べる環境づくりについて、市は今後どのように取り組んでいく考えか</p> <p>(3) 子どもの権利条例について市の考えは</p>
15	野 崎 直 仁 (無会派) 【 40 分 】	<p>1 飯田市の指定管理者制度のあり方について</p> <p>(1) 飯田市の指定管理者制度の現状について</p> <p>① 指定管理者制度とはどういうものか</p> <p>② 指定管理者制度の主目的は</p> <p>③ 指定管理者制度導入施設数と公募の割合は</p> <p>④ 非公募の割合が多すぎる様に思うが、この点に関してはどう考えるか</p> <p>(2) 産業経済部所管の指定管理者制度導入施設について</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	野 崎 直 仁 (無 会 派) 【 40 分 】	<p>① 遠山郷（南信濃、上村）の指定管理者制度導入施設について</p> <p>ア 遠山郷の指定管理者制度導入施設の数が出ているが、この理由は</p> <p>イ 市として維持していく必要がある施設はそれほど多くはない様に感じるがどうか</p> <p>ウ かぐらの湯の指定管理料が低額すぎるのではないかと昨年の第4回定例会の一般質問で指摘したが、これに関してどうか</p> <p>② 飯田市地域資源総合管理施設天龍峡活性化センター（あざれあ）について</p> <p>ア 指定管理者制度の趣旨からは逸脱した運営がなされている様に感じているがこの点に関してはどうか</p> <p>イ 大規模な改修がされたが費用は誰が負担しているか</p> <p>ウ 昨年の第4回定例会での指定管理者の議決直後の1月に大規模改修の承認が市から出されているが、これは議会軽視にならないか</p> <p>③ 飯田市保健休養施設（沢城湖周辺施設）について</p> <p>ア 前は公募だったものが今は非公募になった理由は</p> <p>イ キャンプ場としての整備が十分にされていないものを指定管理者制度でキャンプ場として管理させるのは無理があるのではないか</p> <p>ウ 早急にキャンプ場としての整備をする必要があると考えるがどうか</p>